

平成 29 年度事業報告

今年度は、昨年度に引き続き厚生労働省の患者のための薬局ビジョン推進事業に採択され、県の委託事業として「肺の健康」をテーマに各支部を中心に 34 会場でお薬・健康相談会を実施した。また、生活改善支援事業として、健康づくり推進協定を締結している全国健康保険協会富山支部と協力して県内 7 事業所に出向き、健康相談・禁煙支援活動を行った。さらに、各会員薬局でも「肺の健康チェック」や「特定健診受診キャンペーン」を実施し、県民の健康づくりに取り組んだ。

なお、会営富山中央薬局は、平成 5 年に県立富山中央病院の院外処方せんを応需するモデル薬局として開局した。さらに、平成 22 年には、富山県の補助を受け共同利用の無菌調剤室を整備し、在宅医療への取り組みも進めてきた。しかしながら、院外処方せん発行率の上昇に伴い、処方せんを応需する保険薬局が増えたことから、会営薬局としての役目は果たしたと判断し、平成 29 年 12 月 31 日で保険調剤薬局としては閉局した。その翌 1 月 1 日からは保険調剤以外の機能を薬業会館 1 階に移設し、新「富山中央薬局」として開設、共同利用可能な無菌調剤室等はこれまで通り稼働している。

また、今年度は、会員の利便性を向上のために当会のホームページを全面リニューアルした。

I 富山県の地域住民の健康増進及び公衆衛生の向上を図る事業（公益事業）

1. 薬学及び薬業の進歩発展に関する事業

1) 薬学生の育成等に関する事業

・薬学生の育成に関する事業

実務実習生の受け入れ 45 薬局、87 人

・北陸地区調整機構等との調整

薬学生の実務実習を円滑に行うため、北陸地区調整機構、薬学教育協議会北陸支部、富山大学、北陸大学との連携を図った（計 4 回、延べ 7 名出席）。

2 月 17 日、平成 29 年度富山大学薬学部薬局実習運営協議会に実習受入先薬剤師 5 名が出席した。

・認定実務実習指導薬剤師の養成に対する支援

9 月 20 日、認定実務実習指導薬剤師更新講習会を開催した（10 名）。

2 月 11・12 日、認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップに受講者 12 名、タスクフォース 2 名を派遣した。

2) 薬剤業務体験学習事業（県委託事業 委託料：1,000 千円）

・「薬剤師のお仕事」紹介リーフレットの作成・配布（12 千部）

・富山県薬事研究所における製薬体験学習

8 月 18 日 高校生 7 名参加、8 月 2 日 中学生 14 名参加

8 月 3 日 中学生 27 名参加

・薬局における調剤体験学習

7月27日 15薬局 中学生50名参加

- ・病院薬剤師の仕事体験学習

7月31日～8月22日(9回開催) 8公的病院 高校生64名参加

3) 生涯教育学習

- ・生涯教育研修委員会が策定した年度計画に基づき、6月、10月、3月を除く毎月1回開催し、753名参加した(薬局機能強化事業(県補金) 補助金:500千円(補助率1/3))。

また、青年薬剤師会は発足から3年目を迎え、平成29年11月11日に第1回富山県青年薬剤師会シンポジウム「薬剤師の未来のために～今こそ若手躍進のとき～」を開催した。71名が参加し、若手薬剤師5名がそれぞれの立場でシンポジストとなり、意見交換を行った。

- ・会報誌「富薬」を毎月発行し、最新情報の周知に努めた。
- ・8月2日に開催された三師会において、医師会、歯科医師会の役員との情報交換を行った。

4) 医薬品の製造販売、製造及び販売に関する医薬品医療機器等法対応への支援強化事業

- ・製薬薬剤師部会において、富山県薬事研究所及び株広貫堂呉羽工場の2施設の見学・研修を計画し、平成30年4月に実施することとした。

5) 研究活動の推進事業

- ・平成29年9月17日・18日、新潟市で開催された第57回北陸信越薬剤師大会、第49回北陸信越薬剤師学術大会に参加し、当会会員から口頭6題、ポスター8題の発表を行った。
- ・10月9日・10日の両日、東京都で開催された第50回日本薬剤師学術大会に、当会から21名が参加し、分科会1題、口頭2題、ポスター1題の発表を行った。
- ・10月21日、第19回富山県薬学会年会を開催した。97名が参加し、15題の口頭発表を行った。

2. 薬業を通じて医薬品の適正使用等医療貢献に関する事業

1) 地域住民に対する相談・助言・普及事業

- ・「薬の消費者教室」への講師派遣(実施回数:38回、受講者:1,070名)
医薬品総合情報事業(県委託事業 委託料:1,000千円)
- ・ジェネリック医薬品使用促進のための啓発資材を用意し、平成30年4月に会員薬局に配布することとした。
- ・全国健康保険協会富山支部からの依頼により、ジェネリック医薬品使用促進についての講演を行った(2月15日富山市、2月22日小矢部市)。
- ・富山県薬局・薬剤師健康創造拠点化推進事業(患者のための薬局ビジョン推進事業)
(県委託事業 委託料:3,600千円)

薬剤師によるアウトリーチ型健康づくり推進事業を次のとおり実施した。

「かかりつけ薬剤師・薬局によるお薬・健康相談」

薬局以外の場所において、栄養士等と連携してお薬・健康相談会を34回開催した。

延べ薬剤師 191 名、栄養士 27 名、その他 20 名が参加し、「肺の健康チェック（肺年齢測定）」もしくは相談を応需した人数は、1,071 名であった。

「生活習慣改善支援事業」

昨年度、協定を締結した全国健康保険協会富山支部の協力の下、県内 7 事業所で生活習慣改善(禁煙)支援活動を行った。内 6 事業所で 930 名に対して事前アンケートを行い、喫煙状況等を把握し、各事業所へ 1～3 回訪問し、健康相談会を実施した。59 名の薬剤師が、延べ 222 名の相談に応需した。

「健康診断受診応援キャンペーン」

アウトリーチ会場および会員薬局において、特定健診受診対象者である国民健康保険加入者に対しアンケート調査を実施するとともに、啓発用リーフレット等を活用して特定健康診査の受診を勧奨した（アンケート実施 812 名）。

「かかりつけ薬剤師・薬局研修事業」

保健医療に係る地域社会資源やその課題、保健医療に係る市町村の施策等に関する研修会を各支部で開催した（6 回）。

- ・元氣とやま健康ステーション事業（県補助事業 補助金：2,000 千円（補助率 10/10）

「元氣とやま健康ステーション」に登録している 267 薬局で「肺の健康チェック」と肺の健康に関するアンケート調査を実施した。175 薬局から 1,555 名の実施結果を回収した。

2) 新型インフルエンザ対策事業

- ・11 月 16 日、富山県が開催したインフルエンザ対策連絡会議に出席した。

3) 研修会事業

- ・3 月 11 日、高度管理医療機器販売業等営業管理者継続研修会を開催した（174 名）。
- ・会営富山中央薬局の無菌調剤室を使用して、無菌製剤実習を実施した（9 回、17 名）。
- ・健康サポート薬局の届出に係る技能習得型研修会を開催した。

10 月 22 日 研修会 A（健康サポートのための多職種連携研修）（77 名）

10 月 22 日 研修会 B（健康サポートのための薬剤師の対応研修）（64 名）

- ・薬剤師認知症対応力向上研修会を富山と高岡の 2 会場で開催した。

薬剤師認知症対応力向上研修事業（県委託事業 委託料：400 千円）

11 月 19 日 富山会場：富山電気ビルディング（83 名）

12 月 3 日 高岡会場：高岡文化ホール（50 名）

3. 薬事衛生の普及・啓発に関する事業

「薬と健康の週間」事業の実施

- ・10月17日の北日本新聞朝刊にかかりつけ薬局の推進、お薬手帳の普及に関する広告を掲載し、県民への啓発を行った。
- ・10月22日、県との共催により「薬と健康の週間」記念講演会を開催した（57名（うち、一般参加者4名））。

「薬事情報センター」における薬に関する相談の応需

- ・薬事情報センターに一般県民等から151件の相談があった。

インシデント事例収集

- ・2月の1カ月間をインシデント事例収集強化月間として、会員薬局から報告のあった調剤事故・インシデント事例を集計・解析した。結果は次年度フィードバックする予定である。
- 「いきいきとやま・健康と長寿の祭典」等における「お薬相談コーナー」の開設
- ・「米寿のつどい」（9月4日（富山市）、9月7日（高岡市））に会員各1名の協力を得て「お薬相談コーナー」を開設した。
 - ・「いきいきとやま・健康と長寿の祭典」（11月8日・9日）に、8名の会員の協力を得て「お薬相談コーナー」を開設した（相談件数32件）。

4. 地域医療への貢献並びに医療安全の確保に関する事業

1) 医薬品の供給・備蓄事業

- ・会営富山中央薬局では、調剤用医薬品を延301薬局に分譲した。

2) 在宅医療推進事業

- ・会営富山中央薬局の無菌調剤室の共同利用等

会営富山中央薬局の無菌調剤室の共同利用に係る契約件数は82件、利用実績は、3薬局延16件であった。

会営富山中央薬局の無菌調剤室を使用して、無菌製剤実習を実施した（9回、17名）（再掲）。

- ・薬薬連携推進事業（県委託事業 委託料：500千円）

病院薬剤師、薬局薬剤師による薬薬連携推進会議を各医療圏単位で開催した。

新川医療圏：5月18日（22名）、7月20日（26名）、11月16日（25名）、
12月4日（17名）、1月22日（25名）

富山医療圏：1月30日（49名）、2月6日（30名）

高岡医療圏：6月27日（49名）、10月25日（58名）、3月15日（40名）

砺波医療圏：12月11日（13名）、2月15日（47名）

全体会議：3月1日 平成29年度各医療圏での活動報告を行い、平成30年度活動計画を討議した（51名）。

- ・在宅医療推進訪問薬局支援事業（県補助事業 補助金：450千円（補助率1/2））

在宅訪問準備研修会（SGD）

10月1日富山会場（30名）、10月4日高岡会場（25名）、10月4日新川会場（17名）

症例検討会（SGD）

10月1日富山会場（26名）、10月12日新川会場（14名）、10月26日高岡会場（24名）

在宅医療・終末期医療等に関する研修会

8月3日「訪問看護の現状と薬剤師との連携」（富山・69名）

1月18日「嚥下に関する研修会（座学・実技）」（魚津・33名）

2月7日「バイタルサイン研修会（座学・実技）」（南砺・13名）

2月22日「特定保険医療材料研修会（座学・実技）」（高岡・28名）

多職種連携座談会の開催

10月19日「平成29年度富山市医療介護連携研修会」（薬剤師38名、介護支援専門員38名）

3) 自殺防止対策事業

かかりつけ薬局自殺対策推進事業（県委託事業 委託料：300千円）

11月9日、薬局薬剤師を対象とした子どもの自殺対策予防に関する研修会を開催した（66名）。

9月8日、1月25日、3月6日啓発用ポスター、リーフレットを会員薬局に送付した。

4) 薬剤師の職能PR事業

「薬と健康の週間」事業の実施（再掲）

薬剤業務体験学習事業（再掲）

3月10日、富山県主催「未来の薬剤師発掘セミナー」で、県内の中学生、高校生、保護者を対象に講演した。

5) 地域住民の利便性に関する事業

19の公的病院にFAXコーナーを設置し、患者の希望する薬局に処方せんをFAX送信することで、待ち時間の短縮を図っている。

6) 薬剤イベントモニタリング（DEM）事業に対する協力

日本薬剤師会が11月1日～12月25日に実施したDEM事業に協力した。

5. 災害時等の医薬品の確保・供給、衛生の確保に関する事業

・富山県総合防災訓練への参加

9月30日に富山市で開催された富山県総合防災訓練において、医療救護活動訓練を行わなかったことから、当日、県、県医師会および県医薬品卸業協同組合と情報伝達訓練を行った。

・原子力防災訓練への参加

11月26日に開催された原子力防災訓練において、氷見市の一時集合場所（2か所）で実施された安定ヨウ素剤配布訓練に会員4名が、また、避難場所の砺波市の富山県西部体育センターで実施された医療救護活動訓練に会員2名が参加した。

6. その他

・薬局等で人を対象とした調査・研究を行う場合は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に沿って計画を立案し、倫理審査を受けることが必要となったことから、本会でも倫理審査委員会の設置の準備を行い、県で事業変更申請が承認された（倫理審査委員会の設置は平成30年4月1日）。

・会員の様々な活動および地域医療等への利便性を図るため、本会ホームページの更新を1月30日に行った。

II 公衆衛生の普及・指導に関する事業（富山県医薬品総合研究センター、収益事業）

1. 環境衛生検査事業

- ・水道水、飲用井戸の水質検査件数 5,979件
- ・浴槽水の検査件数 347件
- ・学校の環境衛生検査件数 711件
- ・簡易専用水道の法定検査件数 881件

2. 医薬品検査事業

- ・製薬用水、医薬品の検査件数 2,748件
- ・医薬品の計画的試験 2件

III 会員の相互扶助等事業

1. 表彰事業

- ・第85回通常総会で富山県薬剤師会賞受賞者2名、感謝状贈呈者7名に対し、表彰を行った。
- ・第19回富山県薬学大会で薬学特別功労賞2名、石坂久夫薬学奨励賞1名に対し、表彰を行った。
- ・12月9日、平成29年叙勲受章者、表彰受賞者の祝賀会を開催した。

2. 無料職業紹介事業

10件の求人、5件の求職があった。

IV 共益事業

1. 薬剤師賠償責任保険等の加入促進

1月11日に当会指定代理店の馬場保険事務所が会員向けに説明会を行った。

2. 学術出版物などの斡旋